

選考を終えて(表彰委員より)

委員長

名城大学
理工学部教授 **まつ い 松井**

ひろし **寛**

平成12年度からスタートした『中部の未来創造大賞』も今年で10回目を数える。この10年間の応募総数は726件にもなり、この中部地方で様々な人達による様々な活動が活発におこなわれていることに改めて感銘を受けた。なお今年度から従来からの大賞、優秀賞、および特別賞に加えて、新たに奨励賞を設け、より広く顕彰活動対象の拡大を図った。

副委員長

名古屋工業大学
大学院教授 **やまもと こう し 山本 幸司**

こう し **幸司**

10回目を迎えた今回は応募数が減少した。社会基盤施設の運営や維持・管理を中心とする「地域づくり」に関わる活動が低下してきたわけではないと思われるので、当事務局に事前相談の上で、もっと積極的に応募頂きたいと思う。特に行政部門からの応募がなかったことは残念であった。ともあれ、今回受賞なさった団体の皆様には心より感謝と敬意を表させて頂く。

委員

三重大学
特命学長補佐 **わたなべ てい じ 渡邊 悌爾**

てい じ **悌爾**

応募者の大部分が住民部門で、しかも長年継続しながら活動者層が多様に展開されている組織が多いことを喜ばしく思う。「新しい公共」による国土マネジメントや地域活動が中部地域で根付いている手ごたえが感じられる。行政や企業・学校部門の創意あふれる奮起を望みたい。

委員

駿府静岡歴史楽会
事務局代表 **たけうち れい こ 竹内 礼子**

れい こ **礼子**

今回の現地調査では人間力による地道で根気の要る環境整備、国土保全の活動が印象に残った。いずれも危険が伴う活動で担う人々には動植物や気候などの基礎研究、技術の習得、家族の協力、自身の覚悟などたいへんな努力が必要である。今後、安全管理面での社会的なバックアップを期待したい。

委員

中日新開
論説委員 **まえだ こう じ 前田 弘司**

こう じ **弘司**

大賞となった「白馬山麓における積雪期の事故防止活動」は、予想以上に優れた活動内容で、現地調査の会員が感銘を受けたと思われる。創造大賞も十年の歴史を経たが、今後ともこのようなユニークな案件を期待する。

委員

(社)中部経済連合会
専務理事 **やまうち たく お 山内 拓男**

たく お **拓男**

全体的には、地に足のついた地元に溶け込んだ活動が多く、甲乙つけがたい難しい選考となったが、その中でも山岳事故防止活動、エコライフ活動、地域防災活動、自然保護活動に対して高い評価を行った。これからも地域に根ざした地道な活動に光を当てることで、活動に携わる方々の励みになればと考える次第である。

委員

国土交通省
中部地方整備局長 **とみだ えい じ 富田 英治**

えい じ **英治**

第10回を迎えた今回の「中部の未来創造大賞」には、地域住民、企業、学校等による、熱意ある活動や長期間継続されている活動が多く見られました。それぞれが様々な工夫・協働によって取り組まれており、「新たな公」としての役割を担う意識の高まりが感じられました。今後も、みなさんの活動がさらに継続・発展していくことにより、新しい中部の「地域づくり」に繋がっていくことを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局
長野県
岐阜県
静岡県
愛知県
三重県
静岡市
浜松市
名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社
名古屋高速道路公社
独立行政法人
水資源機構 中部支社
日本下水道事業団 東海総合事務所
独立行政法人
都市再生機構 中部支社
社団法人
土木学会 中部支部
中部電力株式会社
社団法人
中部建設協会
社団法人
日本土木工業協会 中部支部

社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部
社団法人
長野県建設業協会
社団法人
岐阜県建設業協会
社団法人
静岡県建設業協会
社団法人
愛知県建設業協会
社団法人
三重県建設業協会
中日新聞社
後援/社団法人
中部経済連合会